

天才スピヴェット (2013)

THE YOUNG AND PRODIGIOUS T.S. SPIVET

L'EXTRAVAGANT VOYAGE DU JEUNE ET PRODIGIEUX T.S. SPIVET

メディア 映画

ジャンル アドベンチャー ドラマ

製作国 フランス/カナダ

色彩 Color

時間 105分

初公開日 2014/11/15

公開情報 ギャガ

映倫 G

【キャッチコピー】

泣き方だけが、
わからない。

【解説】

「アメリ」「ミックマック」のジャン＝ピエール・ジュネ監督がライフ・ラーセンの異色冒険小説『T・S・スピヴェット君 傑作集』を原作に、自身初の3D映画に挑戦したアドベンチャー・ドラマ。スミソニアン学会から由緒あるベアード賞を授与されることになった10歳の天才少年T・S・スピヴェットが、授賞式に出席すべく家を飛び出した一人アメリカ横断の大冒険を繰り広げる中で、様々な経験を重ね、家族との絆を見つめ直していく姿を3Dによるイメージーションあふれる映像で描き出していく。主演はTV「ザ・フォロイング」のカイル・キャトレット、共演にヘレナ・ボナム＝カーター、ジュディ・デイヴィス。

10歳の天才少年T・S・スピヴェットの家族はみな変わり者。モンタナの田舎で広大な牧場を営む父テカムセは身も心もカウボーイ。小さな生きものに恋する昆虫博士の母クレアに、本気でアイドルを目指す姉のグレーシー。そして二卵性双生児の弟レイトンは、頭脳派のスピヴェットとは対照的に、活発で運動や銃の扱いに長けた父親自慢の息子。ところが、その弟がスピヴェットと遊んでいるときに銃の事故で亡くなってしまう。以来、家族は悲嘆に暮れ、スピヴェットは自分を責める続けていた。そんな時、スミソニアン博物館からスピヴェットの発明が栄えあるベアード賞を受賞したとの知らせが届く。一度は授賞式への招待を辞退するスピヴェットだったが、家にも学校にも居場所のない彼は、博物館の次長ジブセンの熱心な誘いを受けることに。こうして家族に置き手紙だけを残し、たった一人で遙かスミソニアン博物館めざして旅立ったスピヴェットだったが…。

【クレジット】

監督 ジャン＝ピエール・ジュネ Jean-Pierre Jeunet

原作 ライフ・ラーセン Reif Larsen

『T・S・スピヴェット君 傑作集』（早川書房刊）

脚本 ジャン＝ピエール・ジュネ Jean-Pierre Jeunet
ギョーム・ローラン Guillaume Laurant

撮影 トマス・ハードマイアー Thomas Hardmeier

美術 アリーヌ・ボネット Aline Bonetto

衣装 マデリーヌ・フォンテーヌ Madeline Fontaine

編集 エルヴェ・シュネイ Herve Schneid

出演 カイル・キャトレット Kyle Catlett T・S・スピ
ヴェット

allcinema

ヘレナ・ボナム・カーター	Helena Bonham Carter	クレア博士
ジュディ・デイヴィス	Judy Davis	G・H・ジブ セン
カラム・キース・レニー	Callum Keith Rennie	テカムセ・E・ スピヴェット
ニーム・ウィルソン	Niamh Wilson	グレーシー
ジェイコブ・デイヴィーズ	Jakob Davies	レイトン
ドミニク・ピノン	Dominique Pinon	トゥー・クラ ウズ